

みずほCustomer Desk Report 2020/02/13号 (As of 2020/02/12)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.87
TKY 9:00AM	109.85	1.0919	119.94	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	110.15	1.0925	120.31	1.2957	0.6719
SYD-NY Low	109.78	1.0865	119.61	1.2991	0.6750
NY 5:00 PM	110.10	1.0874	119.72	1.2952	0.6713
				1.2957	0.6737
NY DOW	29,551.42	275.08	日本2年債	-0.150	1.00bp
NASDAQ	9,725.96	87.02	日本10年債	-0.040	2.00bp
S&P	3,379.45	21.70	米国2年債	1.4448	2.03bp
日経平均	23,861.21	175.23	米国5年債	1.4527	3.12bp
TOPIX	1,718.92	▲ 0.72	米国10年債	1.6360	3.45bp
シコ日経先物	23,945.00	60.00	独10年債	-0.3780	1.50bp
ロンドンFT	7,534.37	34.93	英10年債	0.6100	4.35bp
DAX	13,749.78	121.94	豪10年債	1.0745	4.00bp
ハンセン指数	27,823.66	239.78	USDJPY 1M Vol	4.56	▲0.19%
上海総合	2,926.90	25.22	USDJPY 3M Vol	4.76	▲0.22%
NY金	1,571.60	1.50	USDJPY 6M Vol	5.16	▲0.13%
WTI	51.17	1.23	USDJPY 1M 25RR	-1.00	Yen Call Over
CRB指数	171.76	2.15	EURJPY 3M Vol	5.59	▲0.22%
ドルインデックス	99.00	0.28	EURJPY 6M Vol	5.88	▲0.05%

東京	東京時間のドル円は109.85レベルでオープン。アジア株が全般的に底堅く推移する中、ドル円も堅調に合いとなったものの、引き続き新型コロナウイルス関連の懸念が煽る中、上値は限定的となった。東京時間の値幅は9銭に留まり、109.87レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.87レベルでオープン。11日の中国本土での新たなコロナウイルス感染者数が1月末以来の低水準だったことが好感され、円売りが先行し、110.15まで上昇。しかし、同ウイルスの治療薬開発進展が報じられないなか、上値が重く、再び109円台を戻す。結局109.95レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2955レベルでオープン。新規材料に欠けるなか、方向感なく推移。1.2987レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 マクルヒル)
ニューヨーク	中国でコロナウイルス感染者数の増加ペースが鈍化したとの見方から楽観ムードが強まる中、海外市場のドル円は、欧州株や米株先物の上昇を好感した円売りに110.15まで上昇。買い一巡後、110円手前で膠着状態が続き、109.95レベルでNYオープン。朝方は、主要な米経済指標発表が予定されていないほか、パウエルFRB議長の議会証言(2日目)から目立ったヘッドラインが出ておらず、新規材料に乏しい中、高寄りした米株や米金利の上昇を手掛かりに110円台を回復。対ユーロのドル買いがドル円にも波及する中、午後もしり高推移が続いた。終盤にかけて米金利と米株の上げ幅拡大すると110.12までNY高値を更新し、110.10レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09レベル前半でのじり安推移が続いた。ユーロ円の上昇につれて1.0925まで上昇する場面もあったが、ユーロ圏12月鉱工業生産の予想より弱い結果が伝わる中、上値は重く、1.0913レベルでNYオープン。朝方は、米金利の上昇に圧迫され、1.0900を下抜ける。EU圏の冴えない経済指標、ブレグジット交渉を巡る不透明感、ドイツの政局不安等の懸念材料が煽る中、その後も下値模索の展開が続き、2017年5月以来の安値となる1.0865をつける。午後は安値圏で小動きとなり、1.0874レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小野崎・谷舗 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

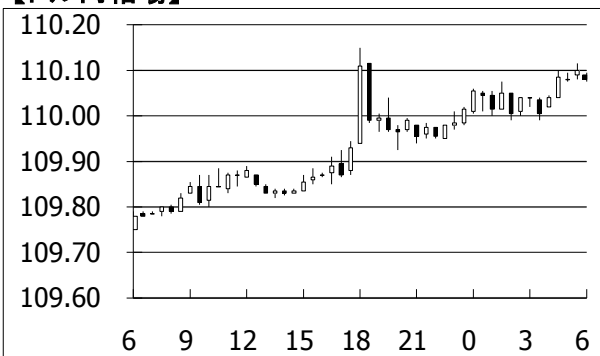
【昨日の指標等】

Date	Time	豪	Event	結果	予想
2月12日	8:30	豪	ウエストパック消費者信頼感指数	2月	95.5
	19:00	欧	鉱工業生産(季調済/前月比)	12月	-2.1%
					-2.0%

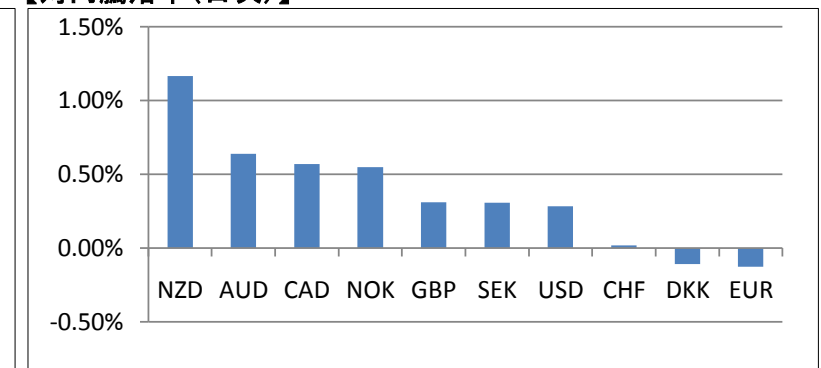
【本日の予定】

Date	Time	豪	Event	予想	前回
2月13日	9:15	豪	ロウ豪中銀総裁 講演		
	16:00	独	CPI(前月比/前年比)・確報	1月	-0.6%/1.7%
	22:30	米	CPI(前月比/前年比)	1月	0.2%/2.4%
	22:30	米	新規失業保険申請件数	-	210k
2月14日	2:45	米	カプラン・ダラス連銀総裁 講演		202k
	3:00	欧	レーン・カナダ中銀副総裁 講演		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 抜けられないレンジ相場

ドル円相場は、ひと月前には「中東」をテーマとしていたが、気付けば「コロナウイルス」がテーマとされている。感染者数は増加を続けており世間的には予断の許さない状況であることに違いないが、マーケットのテーマとしては一巡したのではないかと思います。年始からのドル円相場を振り返ると、イラン革命防衛隊の特殊部隊であるコッズ部隊のソレイマニ司令官が暗殺されたとの報道に107.65円まで値を下げたもののトランプ米大統領がイランへの更なる軍事力の行使をしないとの方針を示すと上昇し、1月17日には110.30円の高値を付けた。その後、コロナ問題を契機に先月末には108.31円まで下落するも当初想定していたものを超えるほどの悲観的材料が出ないことで、結局109円台後半まで値を戻して推移している。このように振り返ると、ただかたかた2ヶ月の間に「中東」「コロナウイルス」に振り回されたドル円相場という印象を受けるが、ドル円相場の「絶対値」にだけ目を向ければ107.65円-110.30円での推移。昨年末は11月1日の107.89円を下値に年末まで108.00-110.00円のレンジ内で推移をしていたことを思い返せば、結局のところ狭いレンジ内での推移が続いている。短期的には、コロナウイルスに対する不透明感が完全に払拭されたわけでないことやコロナウイルスを巡る一連の懸念等が十分に反映されていないのではと感じさせる中国経済指標の今後の下振れリスク、さらには米国債償還に伴う本邦機関投資家によるレパトリエーションなど円買い材料も散見されており調整の局面は想定されるものの、今年に入り2つのテーマを受けても昨年末のレンジの下値である108.00円を割れる局面が短かったドル円相場をかえりみれば、大幅下落は想定しがたく108円程度までではないだろうか。このような点を勘案すると、まだまだ108.00-110.00円のレンジ推移を明確に抜け出すには早いかもしれない。(小野崎順基)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル

ブル	ベア
11	9